

令和7年9月1日（月）、一宮公民館において一宮長寿会といきいきサロンの主催で「高齢者の脳の病気、脳卒中について」をテーマに済生会吉備病院院長難波洋一郎先生による講演会が開催されました。高齢者にとって身近で、関心の高い問題であることから会場は満席となりました。

・講演会では、まず最初に、現在の死亡率の高い順は、がん・心臓疾患・老衰・脳血管疾患・肺炎の順であるとの説明がありました。

・高齢者の脳の病気には、おもに認知症、脳血管疾患、てんかんなどがあり、いずれも高齢化とともに発症率が高まること、最もよく起こるのが認知症で、物忘れ、記憶障害、幻覚、人格変化などの症状が現れる。また、脳梗塞、脳出血などもよく見られる疾患であることの説明がありました。

・脳卒中は、脳内出血・高血圧性脳内出血・アミロイド血管症・脳内出血くも膜下出血（脳動脈瘤破裂による出血）に分類されるが、このうち高血圧性脳内出血は、昔は手術をしていたが、ご家族の皆様の意向が重要視される傾向が強い今では積極的には行われなくなってきたというお話がありました。

・これらを予防するには、食生活の改善や適度な運動に務めるなど生活習慣を日頃から改めることが一番効果的であることなど、スライドを使って幅広い観点から解りやすく解説をいただき参加者はメモをとりながら熱心に聞き入っておりました。



講演会 ご案内

「高齢者の脳の病気、脳卒中について」

一宮長寿会 会長 熊代 進

暑さの厳しい折、皆様方にはますます健勝のことと存じます。令和7年度も岡山市地域健康教育事業の一環として、一宮長寿会主催で実施の予定です。

- ◆ 表 題：「高齢者の脳の病気について、脳卒中」
- ◆ 講演者：済生会吉備病院 院長 難波洋一郎 先生
- ◆ 場 所：一宮公民館 2階 第一、第二研修室
- ◆ 日 時：令和7年9月1日（月） 13:30～15:30
(参加費：無料 奮ってご参加ください)

